

## 高校写真部建設現場撮影会より

高校写真部の撮影会を建設現場で。長崎県初の試みが昨年11月に3カ所の現場で行われた。噂の土木応援チーム“デミーとマツ”的ミー(出水享長崎大学職員)が、国土交通省長崎河川国道事務所の協力を得て実現したもの。

11月1日に、国道57号森山拡幅の「長崎57号下井牟田赤崎高架橋床版工(AP3-P5)外工事」(施工・株上滝)で、県立諫早高等学校と大村高等学校の写真部の生徒計22

人が参加して1回目の撮影会を実施。

11月13日には、「本明川ダム工事用道路古場地区改良3期工事」(施工・株堀内組)と「本明川ダム付替市道落線改良工事」(施工・吉川建設株)の2現場を、諫早高等学校と長崎東高等学校の写真部7人が撮影した。

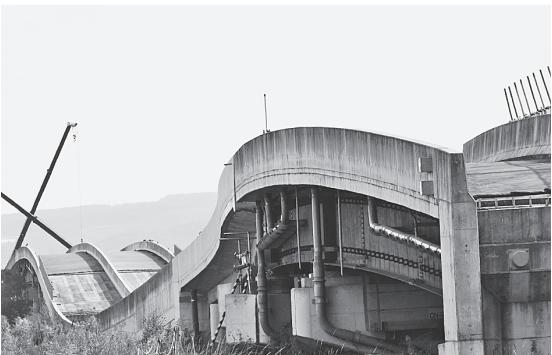
これまで建設とかかわりがほとんどなかつた普通科の高校生は、建設現場で何を感じ、シャッターを切つたのか。撮影した写真とともに紹介する。

撮影会は昨年末にも再度開かれました。これらの撮影会での写真は、2月に諫早駅の再開発ビルリサイアで展示予定です。



●大村高校／2年  
松尾 彩加さん

職人さんが身に付けている道具を見て、大切にし、使い慣れていることが良く分かったので、あえて表情ではなく道具を切り取つて撮影しました。



●大村高校／1年  
早川 美澪さん

湾曲の面白さに目を惹かれました。普段、道路を造る過程を見る機会は無いので、自分が撮ることで、他の人にも現場の凄さが伝わればいいなと思います。



●大村高校／2年  
金井 美羽さん

普段入ることができない工事現場での撮影で、働く方々のいきいきとした表情を、新鮮な気持ちで撮ることができました。

# 次の世代からのメッセージ

messages from the next generation

## 高校生が見た建設現場



●諫早高校／2年  
山本 志歩さん

建設工事は、チームで力を合わせて作り上げているんだと実感しました。それを、朝礼の安全確認の様子で伝えたいです。



●大村高校／2年  
出口 遥さん

初めて見る職人さんの技に驚きシャッターを切りました。建設現場に行ったことが無い人にも、その迫力を少しでも感じてほしいです。



●諫早高校／2年  
堀之内 優香さん

ものすごく重いはずなのに、爽やかに笑っている姿がかっこいいなと思いました。できるだけいっぱいに写したかったので、縦構図にしました。

掲載写真は、諫早高校と大村高校の写真部が撮影した作品から選定しています。